

作給 板垣賢二



ある日、農家のお兄さんが、困った顔をして
キューちゃんのところにやってきました。

「どうしたのですか？」

「毎日スイカ泥棒がやってきて、ごっそり盗
んでいくんだ。」

「犯人は？」

「それが夜中に盗んでいくのでさっぱりわか
らないんだ。」

～抜く～

「よーし、見張ってやろう！」





夜中にみんなでスイカ畑を見張ることにしました。

しかし、いくら待っても泥棒が現れる気配はありません。

「僕も何度も見張っていたのだけれど、どうしても気がつかない。すばしこくて、あっという間に盗んでいってしまいうらしい…」と農家のお兄さんが悔しそうに言いました。

一方カメラで遊んでいるキューちゃん。

「だめだよ遊んでちゃあ！キューちゃん！」

「大丈夫だよ。」

しかし誰も現れません。

～抜く～





そのとき、突然ピカッと光が！！

「あー、キューちゃん、カメラのシャッターを
押してしまったわね！」

「だめだよ。見つかっちゃうよ！」

「もー、キューちゃん、だからカメラに触っ
ちゃだめって言ったでしょ！」

「ごめん、キュー！」

「ああ、もう今日はおしまいにして。明日、
また出直すか…。」

～抜く～





ところが次の日、キューちゃんの写真にバッチリ犯人が写っていたのです。

「まー、なんて偶然。」

「わかってて写したに決まってるキュー！」

「不気味なたぬきだ。腹に帯を巻いていて、分数が書いてあるぞ。」

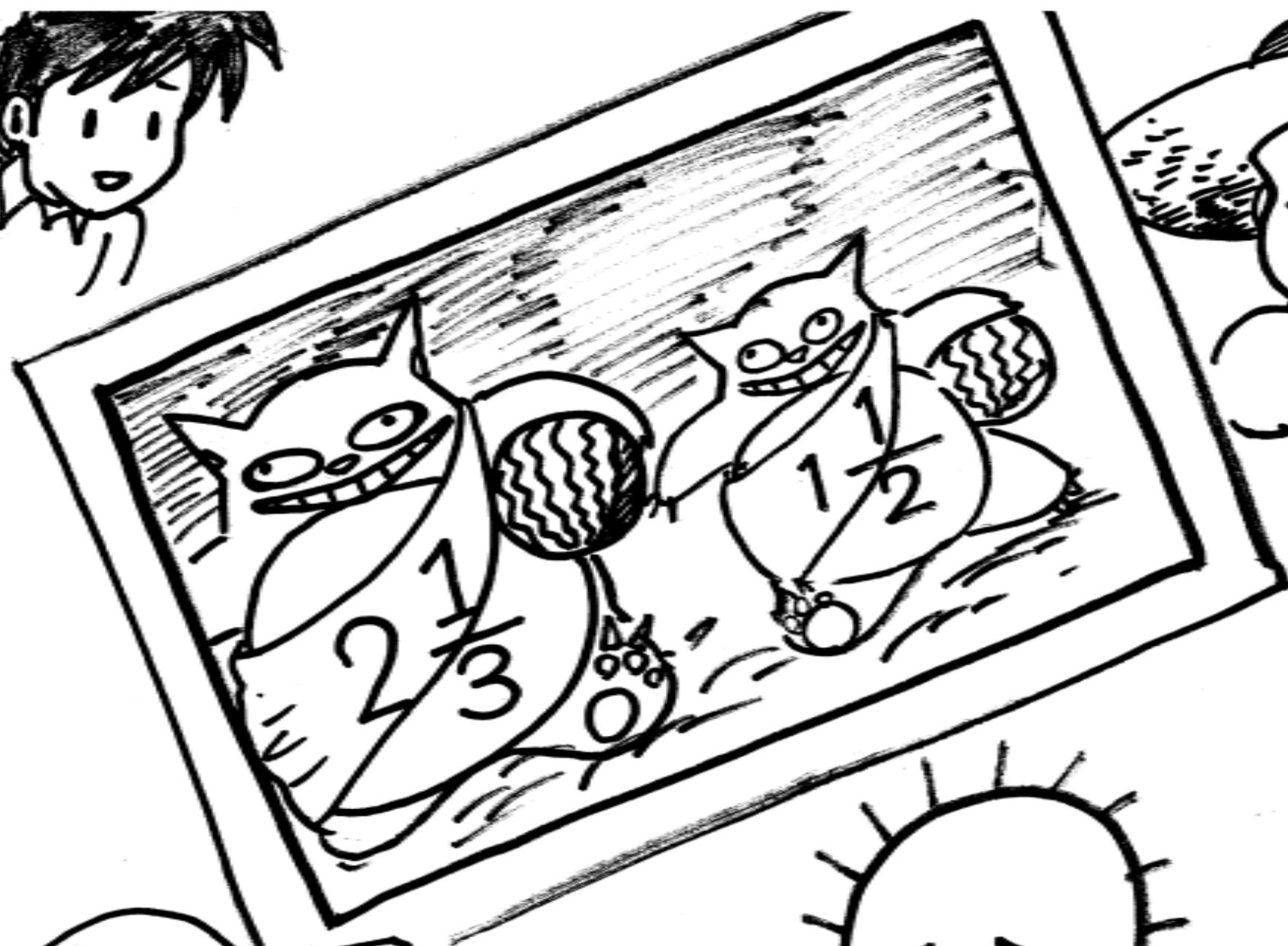
農家のお兄さんがいらだたしそうに言いました。

「この分数タヌキが犯人か。すぐに家に乗り込もう！」

～抜く～



③のうら



4



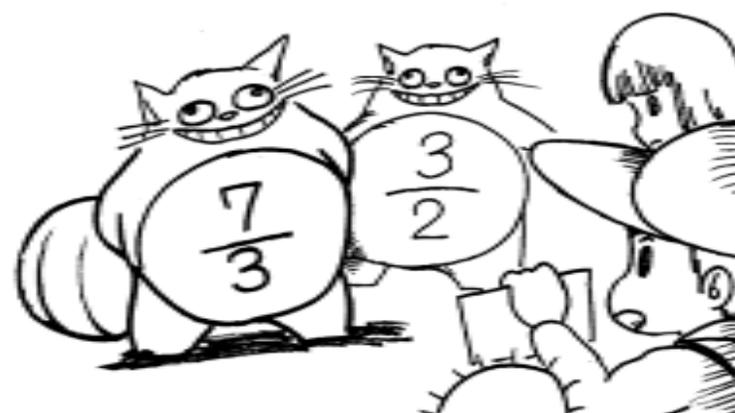
「俺たちじゃあないぞ、証拠はあるのか！？
確かに俺たちに似てはいるが、腹の分数が違うじ
ゃあないか。」

俺たちはいやしくも算数の国から来た由緒正
しい分数タヌキだ。腹の分数は絶対にうそはつか
ない。」

「うーん、人違い、いやタヌキ違いかなあ。」

「いやいや、信じてはだめよ。タヌキは化ける
のよ！」

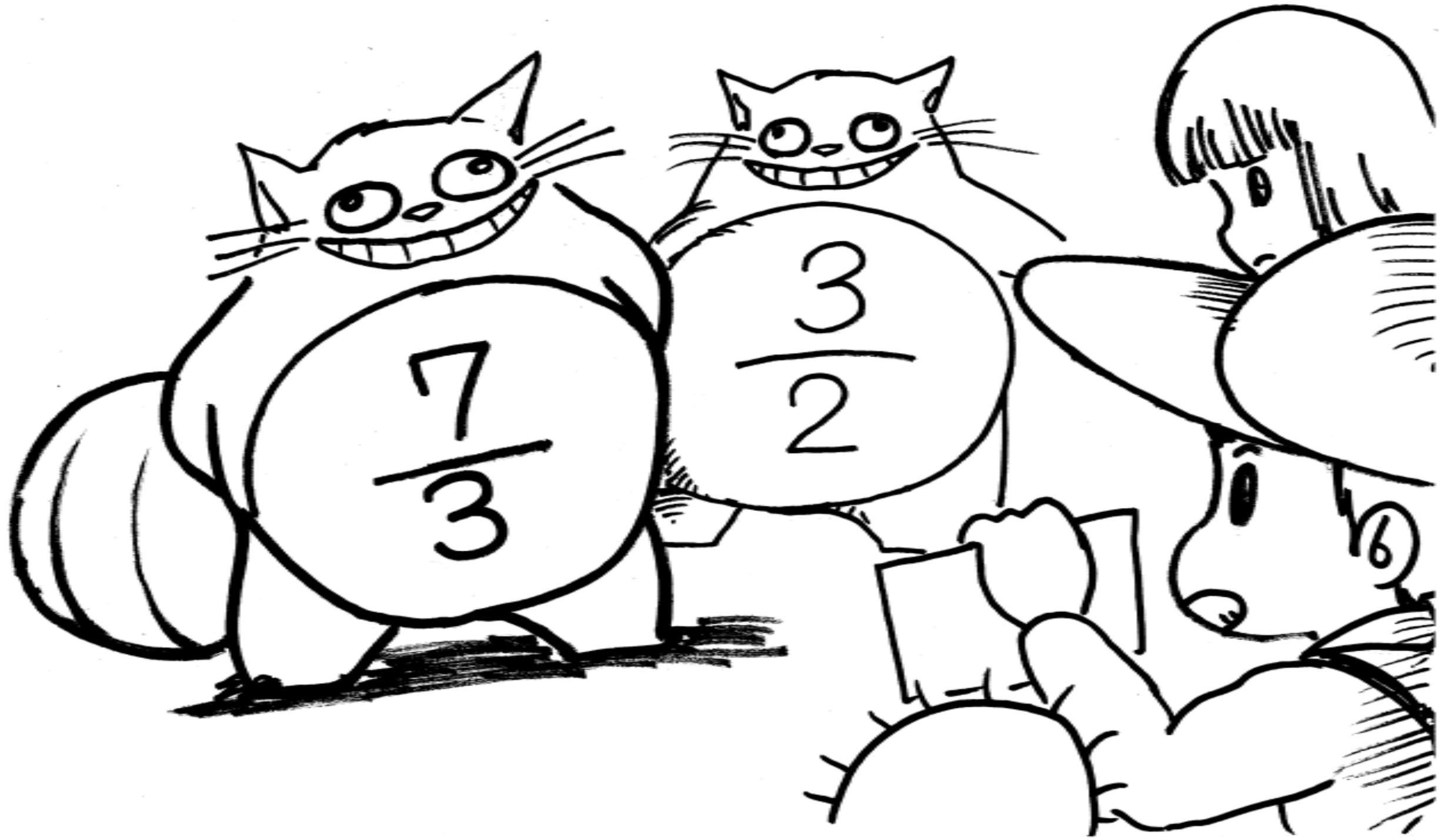
「化けるねえ」



分数パタパタタイルなどを使って、仮分数を帯分数に直す学習をする。(別紙資料参照)

～抜く～

④のうら

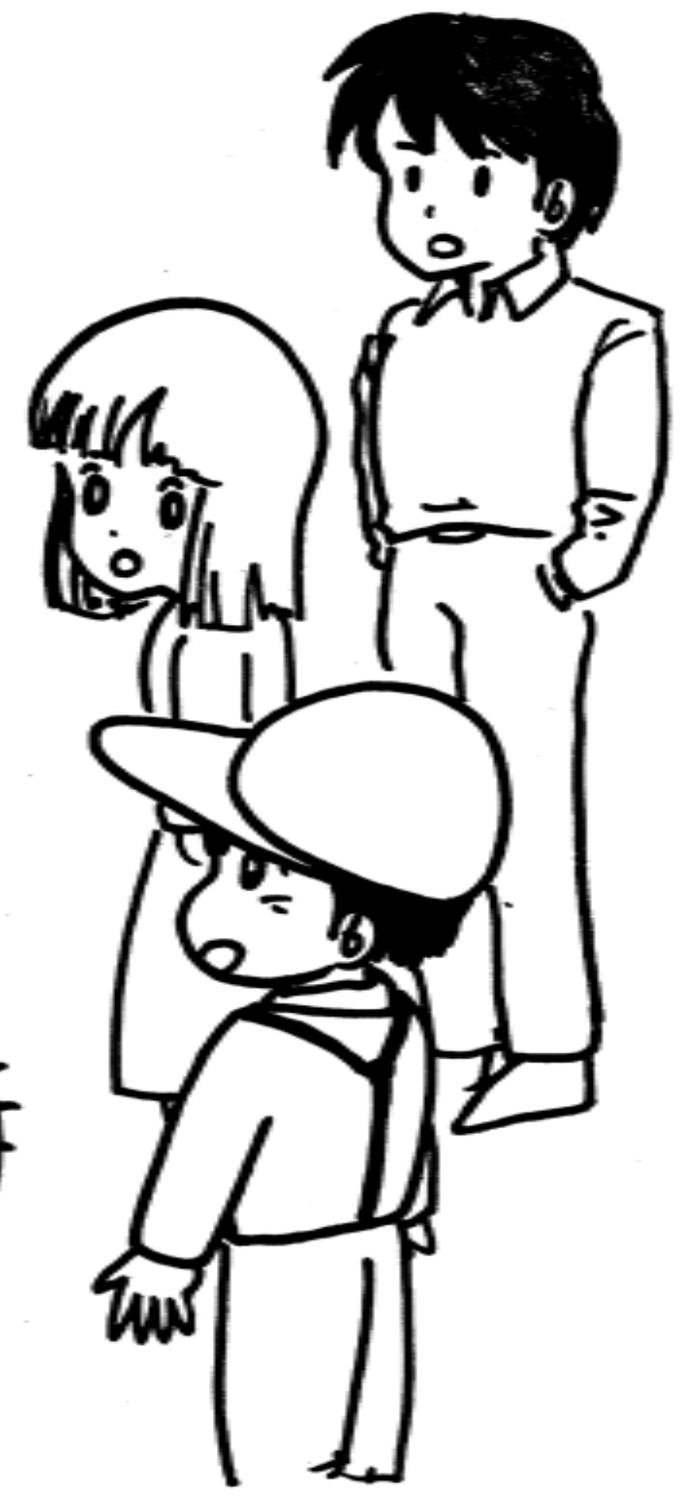
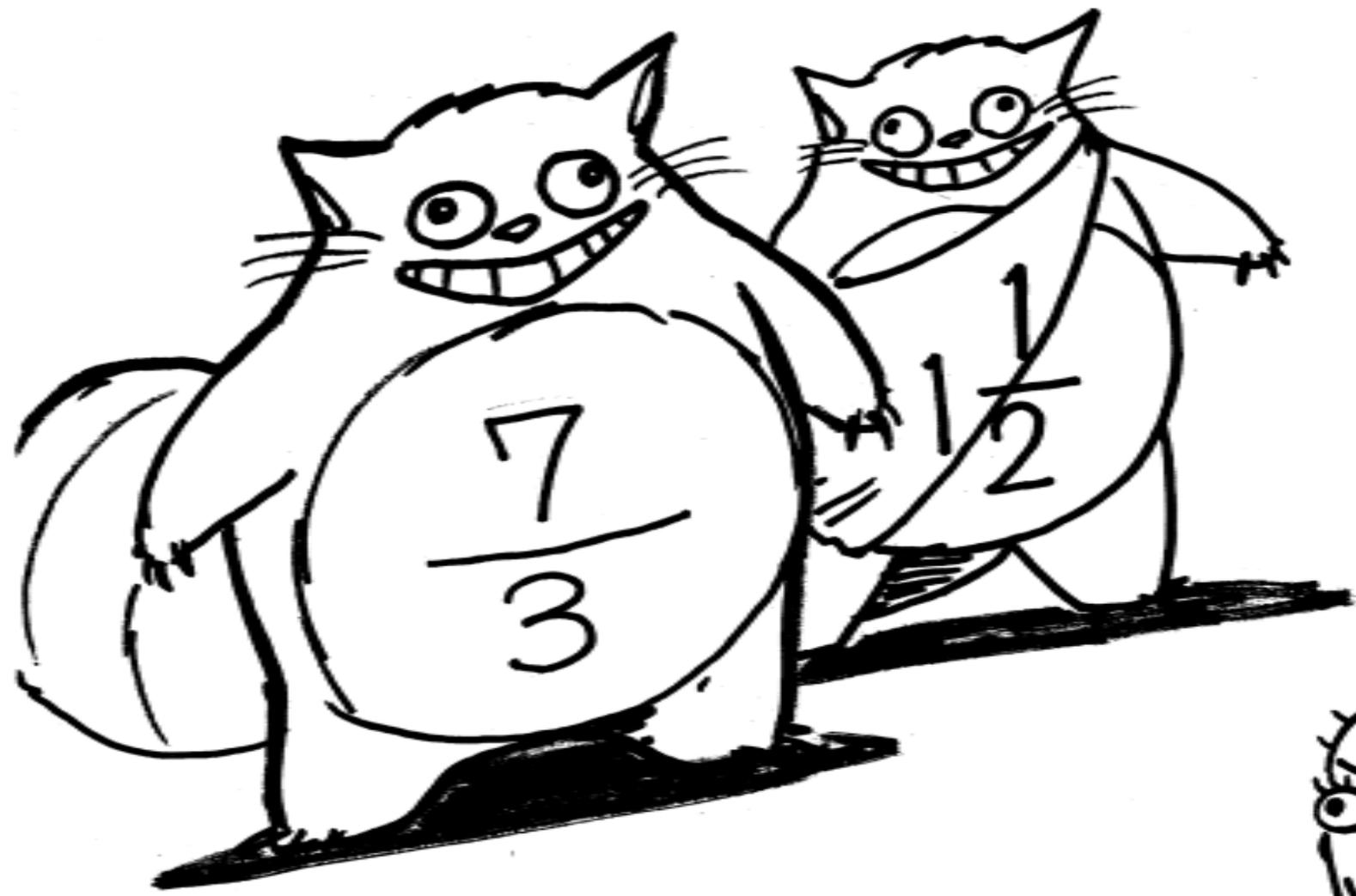


「うーん参ったよ。分数が化けることを見破られてしまっては仕方ない。俺たちは、算数国に帰るとするか。」

「えっ、帰っちゃうの？なんだかつまんないキュー」

「そうだね。つみほろぼしをして欲しいね。」
～抜く～





「帯分数と仮分数の変身の仕方をきちんと教えてもらおう。」

「うわーっ、何度も変身するのって大変だよー。」

「だめだめ、しっかりとやり方がわかるまで何度も変身してもらおうよ！」

みなさん、帯分数と仮分数の変身の仕方は、わかりましたか？

おしまい



⑥のうら



「スイカ泥棒は誰だ」

学年6年 作 いたがきけんじ

めあて 同じ量を帯分数と仮分数で表せることを知る。

分数のむずかしいところ(おもしろいところ)は、同じ大きさの量を様々な形で表現できるところです。(帯分数・仮分数・倍分・約分)

この紙芝居は、「分数は化ける」という言い方で、帯分数と仮分数との“変身”を楽しくイメージづけようというものです。

帯分数と仮分数との“変身”は、「分数パタパタイル」を使って指導されることをお勧めします。紙芝居の後に資料を収録しておきました。参考にしてください。

「スイカ泥棒」って何でしょうか?どんなお話でしょうか?
はじまりはじまり。

～抜く～

⑦のうら

